

お色直しの回数は1回。 結婚式の衣裳は「ウエディングドレス+α」 ～『ゼクシィ結婚トレンド調査2011』首都圏版より～

株式会社リクルートが運営するブライダル総研より、『ゼクシィ結婚トレンド調査2011 首都圏版』（結婚前に首都圏に住んでいた『ゼクシィ』読者のうち、2010年4月～2011年3月に挙式もしくは披露宴・披露パーティを行った人、計1,024人を対象）から見えてきたカップルや結婚式の状況や特徴に関する分析をお伝えします。

① 結婚式での新婦の衣裳は平均2.2着。お色直しは1回。

『ゼクシィ結婚トレンド調査2011』によると、首都圏のカップルにおいて、挙式、披露宴・披露パーティで新婦が着た衣裳の総数は“2着”の人が66.1%で最も多く、平均は2.2着となっています。つまり、およそ3分の2の新婦が、衣装替をする“お色直し”を1回としているようです。

エリアごとに見てみると、新潟・四国・九州では、衣裳の総数が多く、3～4割がお色直しを2回しています。

② 「ウエディングドレス」の着用率は95.1%。 「カラードレス」でその家に染まる意味を表す。

では実際には、どんな衣裳を着ているのでしょうか。新婦が着た聞いたところ、「ウエディングドレス」は95.1%と、ほとんどの新婦が「ウエディングドレス」を着ていることがわかります。続いて多いのが「カラードレス」61.5%、「色打ち掛け」「白無垢」と和装が続きます。

衣裳の組み合わせを見てみると「ウエディングドレスとカラードレス」が55.8%と一番人気となってきます。続いて多いのは「ウエディングドレスのみ」16.4%。

ただし「ウエディングドレスのみ」の人は2005年以降徐々に減少しているようです。

エリアごとに見てみると、衣裳の総数が多いエリアではこの「ウエディングドレスとカラードレス」に「色打ち掛け」を着ているようです。

「真っ白な状態から嫁ぎ先の家の色に染まる」ことを表す、お色直しの由来の通り、白いドレスとカラーの衣裳の組み合わせが人気のようです。

③ 新郎のお色直しも1回。色違いの「タキシード」に。

一方、新郎の衣裳の総数は平均1.6着。「1着のみ」の人は49.1%で一番多いですが、「2着」の人も46.5%と半数近くいます。

着ている衣裳の種類は「タキシードのみ」が55.8%で、「1着のみ」着用した人よりも多く、新婦の衣裳に合わせて、新郎も「タキシード」から色違いの「タキシード」に衣裳を変えるなどのこだわりがうかがえます。

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“リクルート ブライダル総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートのブライダルカンパニーに設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

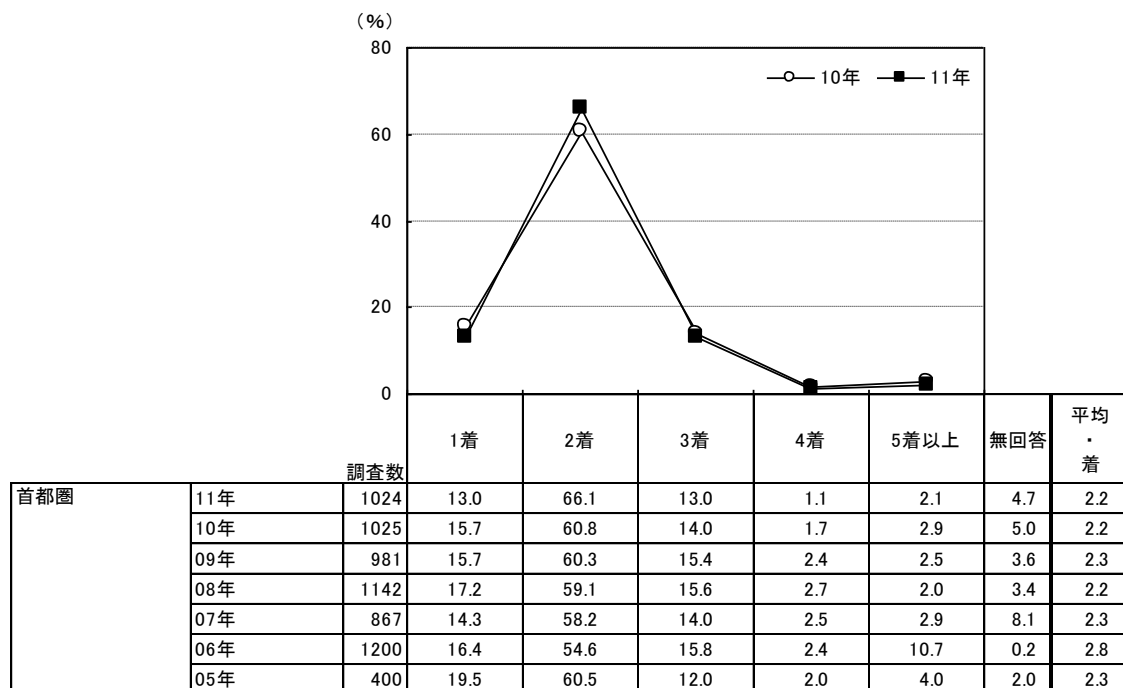
「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

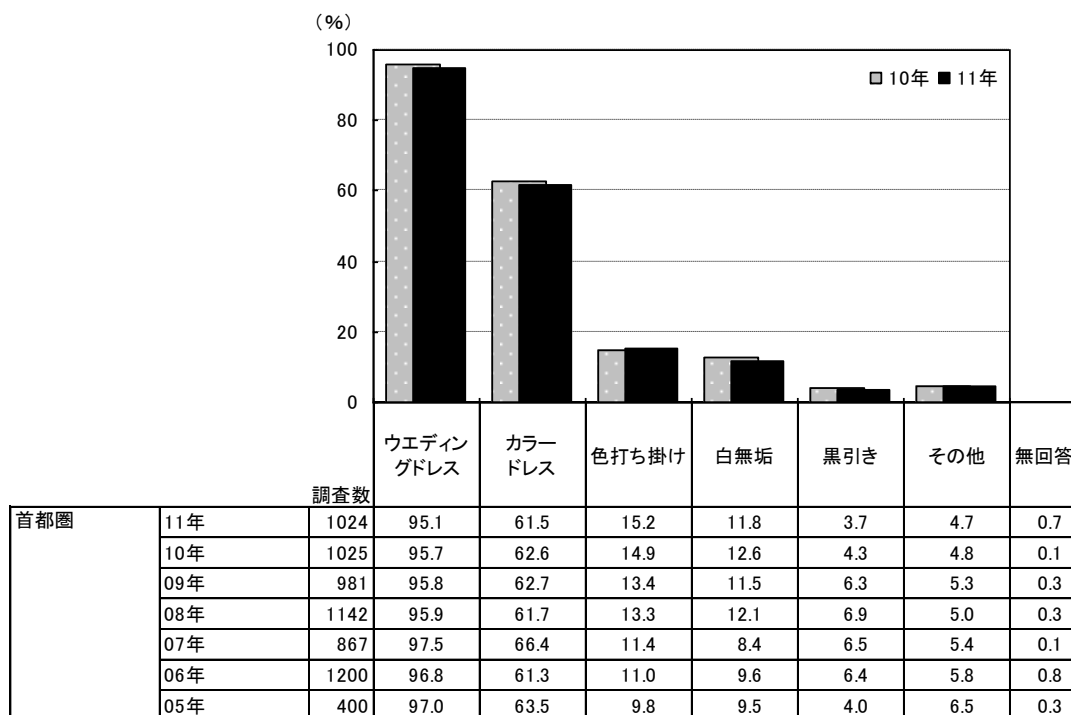
■調査名：『結婚トレンド調査2011』より

【参考データ】

■新婦の挙式、披露宴・披露パーティでの衣裳総数（全体／単一回答）



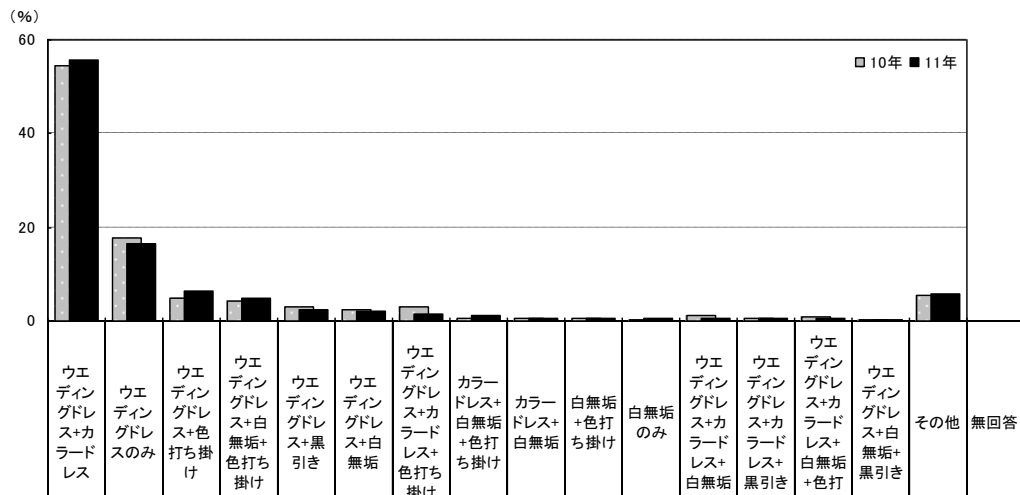
■新婦の衣裳の種類（全体／複数回答）



■調査名：『結婚トレンド調査2011』より

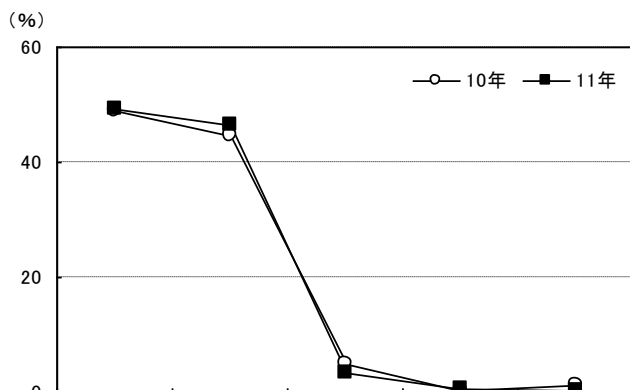
【参考データ】

■新婦の衣裳の組合せパターン（全体／単一回答）



首都圏	調査年	調査数	調査数														無回答	平均・着								
			11年	10年	09年	08年	07年	06年	05年	ウエディングドレス+カロードレス	ウエディングドレスのみ	ウエディングドレス+色打ち掛け	ウエディングドレス+白無垢+色打ち掛け	ウエディングドレス+黒引き	ウエディングドレス+白無垢	ウエディングドレス+カロードレス+色打ち掛け			カロードレス+白無垢+色打ち掛け	カロードレス+白無垢	白無垢+色打ち掛け	白無垢のみ	ウエディングドレス+カロードレス+白無垢	ウエディングドレス+カロードレス+黒引き	ウエディングドレス+カロードレス+白無垢+色打ち掛け	ウエディングドレス+白無垢+黒引き
	11年	1024	55.8	16.4	6.3	4.8	2.3	2.0	1.6	1.1	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	5.7	0.7
	10年	1025	54.6	17.7	4.8	4.2	3.0	2.3	3.0	0.5	0.7	0.5	0.3	1.3	0.6	0.8	0.3	5.4	0.1							
	09年	981	52.9	18.0	3.5	3.0	4.7	2.0	3.3	1.0	0.7	0.6	0.3	1.6	0.5	1.2	0.4	5.9	0.3							
	08年	1142	51.8	19.4	2.9	3.5	4.3	1.8	3.2	0.4	0.4	0.5	0.4	1.8	1.0	1.7	0.5	6.5	0.3							
	07年	867	56.1	18.5	2.5	2.9	3.9	0.9	3.3	0.5	0.5	0.2	0.2	1.0	1.3	1.2	0.2	6.5	0.1							
	06年	1200	52.1	21.9	2.5	3.1	3.0	1.8	2.8	0.4	0.2	0.3	0.2	1.0	1.6	1.0	0.4	7.2	0.8							
	05年	400	54.0	22.3	2.3	1.8	2.5	1.8	2.3	0.3	—	1.3	—	1.8	0.8	1.5	0.3	7.3	0.3							

■新郎の挙式、披露宴・披露パーティでの衣裳総数（全体／単一回答）

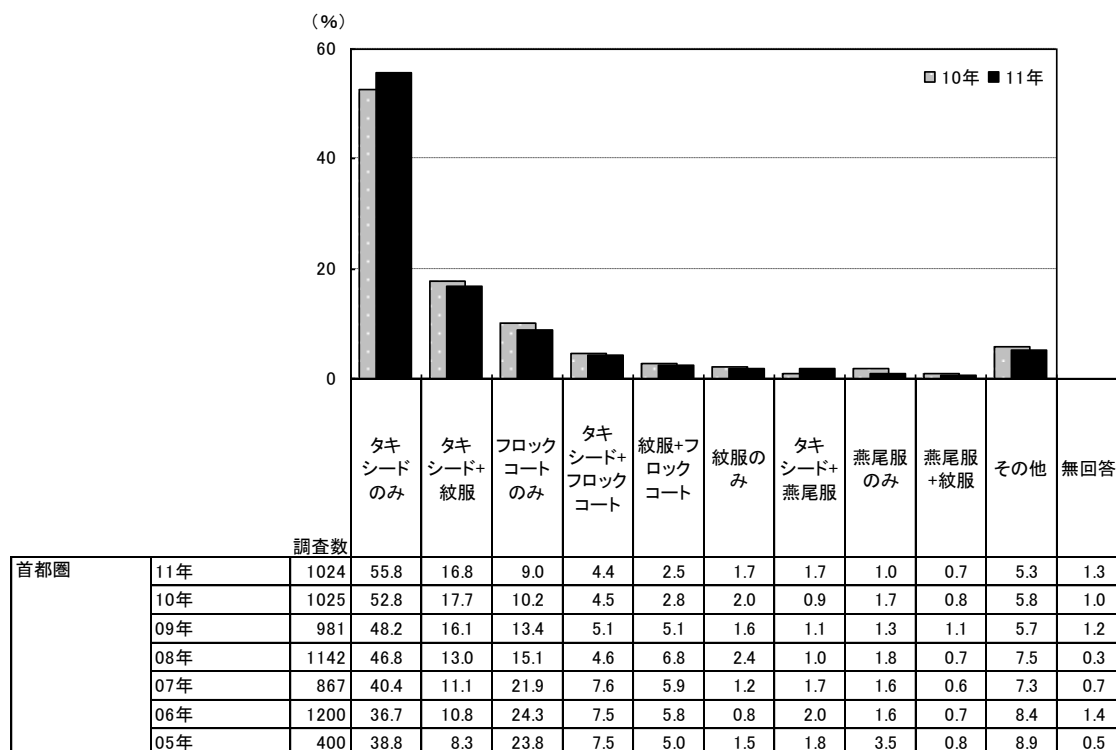


首都圏	調査年	調査数	調査数					無回答	平均・着
			1着	2着	3着	4着	5着以上		
	11年	1024	49.1	46.5	3.5	0.7	0.2	—	1.6
	10年	1025	48.9	44.6	4.8	0.3	1.1	0.4	1.6
	09年	981	49.6	44.1	5.3	0.4	0.4	0.1	1.6
	08年	1142	50.1	42.2	6.4	0.3	0.9	0.2	1.6
	07年	867	45.8	43.1	7.6	1.6	1.6	0.2	1.7
	06年	1200	44.2	44.0	7.1	2.0	2.7	0.1	1.8
	05年	400	53.3	41.8	2.8	1.3	0.8	0.3	1.5

■調査名：『結婚トレンド調査2011』より

【参考データ】

■新郎の衣裳の組合せパターン（全体／単一回答）



【調査概要】

【調査名】 ゼクシィ結婚トレンド調査2011 首都圏版

【調査方法】 郵送法

【調査期間】2011年4月22日～6月3日

【調査対象】首都圏の2010年4月～2011年3月に結婚(挙式、披露宴・披露パーティ)をした、もしくは結婚予定があった『ゼクシィ』読者のうち、エリアごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。調査票発送数：2,992件

※対象エリアの分け方は、05年の『ゼクシィ』各版の発行エリアと同一になります。

【集計サンプル数】計1024人

※地域別の集計は「妻の結婚前の住所」で行なっています(「妻の結婚前の住所」が不明のサンプルは、集計から除いています)。